

嘉麻市社協だより

お皿にかわいい
絵柄をつけました

～碓井千歳会館焼物室にて
おしゃべりサロン開催～

えがお



発行

社会福祉法人 嘉麻市社会福祉協議会

〒820-0205 嘉麻市岩崎1143番地3 稲築住民センター内

TEL 0948-42-0751 <http://kama.syakyo.com>

FAX 0948-83-8005 info@kama.syakyo.com

No.

68

発行日 2011.10.1

広がるサロン活動

ふれあい・いきいきサロンは、公民館などで、おしゃべりや季節ごとの行事を通して、楽しいひと時を過ごすことで、健康の増進や孤立の防止を図るものです。嘉麻市には、30カ所（稲築19、碓井6、山田5）開設されており、本会はこの活動への支援を行っています。

現在、市内の2地区（足白、下白井東）で開設に向けた話し合いが進められていますので、その様子を紹介します。

足白地区では、家に閉じこもりがちの高齢者が増えており、



笑顔いっぱいの足白地区のみなさん

住民の方から、「みんなが集まって楽しく過ごせる場所がほしい」という話がありました。そこで今年の6月から立ち上げに向けた打ち合わせを始めました。

サロンの開催日時や内容、呼びかけ方法などを話し合う中で、実際に体操やおしゃべりの時間を設け、サロンを体験しました。

参加した方は、「サロンがどのようなものかわからなかったけれど、こうしてみんなで笑って過ごせれば、楽しみが一つ増えるよ。」と開催を心待ちにしています。

下白井東地区では、以前から食生活改善推進会を引退された方たちが自主的に集まって、調理や食事、おしゃべりを楽しむ活動を続けてきました。

このメンバーの中にも一人暮らしの方が増えてきており、中には、外出するのは近くの畑



おしゃべりを楽しむ下白井東地区のみなさん

だけという方もいます。

打ち合わせの中で、みんなが気軽に楽しみ、交流できるサロンを目指すことが決まり、10月から月2回開催する予定です。

両地区の打ち合わせ参加者からは、「一人で家にも、笑うことがない」「誰とも話さない日もある」という声も聞かれました。今回の2地区のように、他の地区においても、「気軽に集える」サロン活動が広がっていかばと考えています。

義援金をお寄せいただき、ありがとうございます。

東日本大震災の復興のために、義援金をお寄せいただいています。

誠にありがとうございます。

(8月11日～9月10日受付分)

ちびまる子 代表 池田紀雄様

<募金箱を通じて>

障害者支援施設三愛園様

ポプラ稲築山野店様

※順不同で掲載しております。

※8月31日までに受け付けた義援金につきましては、中央共同募金会に送金いたしました。

見守り活動を学ぶ研修会のご案内

平成23年度地域福祉部研修会を下記のとおり開催いたします。

高齢者の見守り活動を学ぶことを通じて、地域住民の支えあいや関係づくりなどを考える機会になればと思いますので、ぜひご来場ください。

日時 平成23年11月18日(金)
午後1時30分～3時30分

内容 「地域で見守り活動をすすめていくために」

会場 稲築地区公民館

参加費 無料

※ 関心のある方は、どなたでも参加できます。

申し込み・問い合わせ先

嘉麻市社会福祉協議会 電話 0948-42-0751

ちょっと聞かせて ひとことインタビュー

今回は、今年米寿(八十八歳)を迎えられる4人の方に「元気の秘訣」について伺いました。



児玉秀子さん
(飯田在住)

米寿を迎えることについて、「感無量。この一言なんです。」と話す児玉さんには、こうして元気に生きていることが本当に幸せで、言葉にすることができないという、胸いっぱい思いがあ

るそうです。

児玉さんは、料理教室、水墨画、フラダンス、旅行など多彩な趣味があり、たくさんの方とふれあい、楽しく充実した毎日を過ごしています。

また、散歩や山登りも好きだそうで、「自然が多く、四季をこんなにも感じることでできる確井を愛さずにはいられない。」と話します。毎日、自然の中で素敵な人たちと生活できることに、感謝の気持ちでいっぱいだそうです。

最後に児玉さんは、「何歳まで生きるというような目標はないです。先のことは分からないので、一日を大切に、前に進む挑戦をし続けます。」とキラキラした笑顔で語りました。



佐藤秀雄さん
(枝坂在住)

佐藤秀雄さんに元気の秘訣を尋ねると、「毎日の健康管理ですよ。」と返ってきました。

三井山野炭鉱や三井三池炭鉱で電気係員として従事した佐藤さんは、仕事に穴を開けないよう、健康管理には、人一倍気を遣っていたそうです。

大牟田で定年退職を迎え、稲築に戻ってきた後は、第二種電気主任技術者の資格や経験を生かそうと、電気設備の保守点検の仕事を始めました。その時から、一日2回の体操を日課にしている、それは88歳になった今でも続いています。

80歳の時に仕事を引退し、現在は趣味の写真撮影や読書を楽しみながら過ごしています。カメラの操作や、文章を読むことで、頭を使うことも必要だと佐藤さんは言います。

最後にこれからの目標を伺うと、「一日一日を元気に過ごすことですよ。元気がないと何事もできませんから。」と笑顔で答えてくれました。



有吉フミエさん
(嘉穂才田在住)

共働きの息子さん夫婦と同居してきた有吉さんは、数年前まで、家事だけでなく、農作業もされていたそうで、しっかりしなければと気を張っていたことで元

気が保てたのではと振り返ります。

現在は、全て息子さんたちにまかせて、穏やかな生活を送っていますが、できることは何でも自分でしたいという気持ちを常に持っています。

また、読書は長く続いている趣味だそうで、小さな活字を読むことが苦にならずに、毎朝、新聞を隅から隅まで読み、いろいろな情報を得ています。特に、好きなプロ野球球団の情報が載っているスポーツ面を楽しみだと話されます。

そんな若々しい気持ちを持った有吉さんの目標は、「長生きして、ひ孫の顔を見ること」で、新しい家族が増えることを心待ちにしています。



大崎キミエさん
(ゆうひが丘在住)

大崎さんの元気の秘訣は、30年ほど前から始めたカラオケと友人の存在です。

大崎さんは、カラオケ好きの仲間とともに福祉施設を訪問して、その歌声を披露する活動をして

きました。最近、メンバーが高齢になり、活動はなくなりましたが、大崎さんは今でも、その仲間から誘いがあると、カラオケに出かけることもあり、いつまでも張りのある声を出せるよう、健康にも気をつけています。

また、カラオケ仲間の他にも、踊りや近所のおしゃべり仲間など、様々な方との交流を大切にしており、大崎さんのご自宅には、よく来客があるそうです。「今、自分がこうして暮らしていけるのは、周囲の人たちのおかげです。これからもみんなと助け合って、仲良く暮らしていきたいですね。」と、友人への感謝の気持ちを語ります。

最後に大崎さんは、「今度は、白寿の時にこうしてインタビューを受けたいですね。」とにっこり笑って話してくれました。

児童虐待は増えているか

今号から、3回シリーズで、西南学院大学の安部計彦氏に児童虐待について、寄稿いただきます。
第一回は、「児童虐待の現状について」です。



あべ かずひこ 安部 計彦氏 プロフィール

西南学院大学人間科学部社会福祉学科准教授

甲南大学文学部社会学科卒業後、北九州市児童相談所に入職し、子どものケアにあたる。児童相談所心理判定員、判定係長、北九州市立障害福祉センター障害者福祉係長などを経て、2005年より西南学院大学で、児童虐待の予防と対応を研究。

日本子ども虐待防止学会理事、全国児童相談研究会評議委員、福岡市児童福祉審議会委員、福岡県志免町子どもの権利救済委員、日本学校ソーシャルワーク学会理事。

編著 「ストップ、ザー児童虐待」ぎょうせい 2001
「一時保護所の子どもと支援」明石書店 2009

児童虐待で子どもが死ぬ事件が福岡県でも毎年のように起きており、また全国の児童虐待件数は前年から1万件以上増えて5万5千件を超えています。では本当に児童虐待は増えているのでしょうか、それとも以前からあった状態が明らかになっただけで本当はあまり変わらないのでしょうか。

もしかすると皆さんの中には「むかし悪いことをしたので親から叩かれた」とか「外に出された」経験をお持ちの方もいると思います。「子どもが言うことを聞かないので叩いた」経験があるかもしれません。では、子どもが悪いことをしたので「3日間も食事をさせなかった」のはし

つけでしょうか。「骨折するほど叩く」のはいかがですか？このように「しつけ」と「虐待」の線引きはなかなか難しいのですが、現代では「叩かないしつけ。ほめて伸ばすしつけ」が中心になり、子どもに対する「愛の鞭（ムチ）」も不適切と考えられるようになりました。その意味で、児童虐待の認識の範囲が広がっているのは確かです。

一方、最近離婚率も上がり、一人で子育てをしている若いお母さんも増えていきます。一人での子育ては負担が大きいです。平均年収は2005年度で213万円と両親家庭の4割程度しかありません。また最近の不況で多くの若い子

育て家庭で経済的に苦しくなり、共稼ぎも多くなっています。このような経済的な苦しさはストレスにつながりやすくなります。

また嘉麻市でも同じだと思いますが、昔ながらの近所付き合いは減り、地域や親戚で家事や子育てなどを助け合う風潮は減ってきました。

その結果、人間関係でわずらわしい思いをしなくて済むという気安さや個人情報保護などのメリットもありますが、逆に大変な時に誰も助けてくれなくなり、自分から求めないと1日誰とも話をしないことも起きてきます。その結果、転勤族や内気な人だけでなく、赤ちゃんが小さくて外出が自由にできない

お母さんなども、一人で悩みを抱え、イライラが募ることもあります。

以上のような経済的なストレスや子育てのイライラがある時に、子どもがちよつとしたことで泣いたり、親の言うことを聞かない時に、つい大声が出たり、思わず手を出すことが起きますのです。

つまり現代の日本では、だれでも子どもを虐待してもおかしくない状況になっており、このことが虐待件数の増加の背景にあると思います。このように考えると、最初の問いに対する答えは、「認識の拡大と実数の増加の両方がある」となるでしょう。児童虐待は子育てのSOSです。逆に子育ての

トレスやイライラをできるだけ少なくするように周囲の人たちの声かけや支援があれば減少できるのです。もし近所に気になる親子がいれば、「お互い様で助け合う」という気持ちで日ごろから声をかけましょう。そしてつと心配な場合は、関係機関に連絡することが最悪な事態を防ぐこととなります。

届いたいのちのちのメッセージ

8月20日(土)、稲築地区公民館にて、阿部敏之(としゆき)さんを講師に迎え、子育て講演会「僕が僕であるために」が今だからこそ伝えたいメッセージ」を開催しました。

本紙の取材をきっかけに急ぎよ決まった講演会でしたが、36名の方が参加しました。

阿部さんは、今年の3月に治療中だったすい臓がんが全身に転移し、医師から余命半年であることを宣告されました。その闘病生活の中であらためて感じた命の大切さや二人の息子さんを育ててきた体験などを語りました。そのお話には、子どもさんと正面から向き合うことの大切さや目標を持つことなど、



限られた時間の中で父親として伝えておきたい思いがたくさん詰まっていた。

講演が終了すると、阿部さんの前には、その真摯(しんしん)な生き方に感銘を受けた参加者の長い列ができました。「とても勉強になりました。」「自分の子育てを振り返ることができました。」などの感想を、涙を流し話されており、いのちのメッセージ「が、参加者の胸に届いた講演会となりました。」

この記事を書き終えた9月15日、ご家族の方から訃報を受けました。葬儀場に伺うと、入り口にこの講演会に使った資料が写真とともに飾ってありました。「気持ち良く講演ができた。」と話してあったことや広報紙の発行を楽しみにしていたらつしやったことを伺い、お届けできなかったことが残念でなりません。心からご冥福をお祈り申し上げます。

笑顔咲く

夏の交流会

8月27日(土)、寄ってこハウスにて、今年も夏の交流会を開催しました。44名の参加があり、ハウス内は人でいっぱいになりました。

午前中は、和紙を使つてうちわ作りをし、みなさん夢中になりました。箱に入れた和紙の上で、絵の具をつけたビーズをころがしていくと、色あざやかな柄がついていきます。大人も子どもも一緒に楽しみながら、親子だけでな



みんなで楽しくうちわ作り

く参加者同士でも交流し、オリジナルのうちわを完成させていきました。子どもたちは、早速出来上がったうちわで扇ぎ、涼を楽しんでいました。

午後からは、汗をかきなが



さあ、割れるかな

ら、そうめん流しや、すいか割り、夏を満喫しました。参加者の方からは、「子どもの夏の思い出ができて嬉しい。」といった声や、「普段なかなかできないことができて良かった。」という感想が聞かれ、いろんな交流とふれあいがあり、たくさんの笑顔が咲いた夏の一日となりました。

一カ月の実習で 学んだこと

久留米大学 3年 鬼丸千宙(ちほろ)さん



私は、学校で学んできた知識と自分が生まれ育った地域

とを結びつけて考えてみたいという思いから、今回、嘉麻市社会福祉協議会での実習を希望しました。

一カ月間、大変ご迷惑をおかけしたと思いますが、熱心に指導していただき、とても価値のある実習にすることができました。

多くの事業や活動に同行させていただくことで、地域福祉について考えを深める機会となりました。また、人とのふれあいに喜びを感じるととも

に、支援を行っていくうえで信頼関係構築の難しさや重要性を学ぶことができました。今回の実習で学んだことをこれからの学校生活の中でさらに確かなものにしていき、将来につなげていこうと思います。

職員の方だけではなく、実習中に出会えた多くの方々のおかげで少しは成長できたのではないかと思います。本当にありがとうございました。

かまボランティア 市民活動センター情報

2011年
10月

ボランティアさんに聞きました

よしほ
渡邊美穂さん

今回は、夏休み期間中に、児童養護施設嘉麻学園での学習補助ボランティアに参加した渡邊さんにインタビューしました。

今回ボランティア活動に参加したきっかけを教えてください。

私は、山口学芸大学で教育に関する勉強をしています。夏休みの帰省期間を利用して、子どもたちと関わる活動をしてみたいと思い、センターに問い合わせ、嘉麻学園での学習補助の活動を紹介してもらいました。

具体的にどのような活動ですか。

私は、小学生2人の学習のサポートをしました。具体的には、一人1時間ずつ学校の宿題や読み聞かせ、工作の補助などを行いました。それに、私の特技でもある習字を教えたりもしました。



実際に活動しての感想をお聞かせください。

最初は不安もありましたが、子どもたちの方から積極的に話しかけてきてくれたので、すぐになじむことができ、本当に楽しい時間を過ごすことができました。そしてとても良い経験になったと思います。

今後の夢をお聞かせください。

今回の経験を大切に、大学でもっといろいろなことを学んで、子どもたちのために役立てたいと思っています。また、帰省した時には嘉麻学園でのボランティア活動を続けたいと思っています。

ボランティア・イベント情報

嘉穂特別支援学校 アート展

展示期間

平成23年11月25日(金)
～12月1日(木)
9時～21時
※最終日は15時までです。

会場

イオン穂波店 1階ふれあい広場
(飯塚市枝国長浦666-48)

展示内容

学校生活の中で児童生徒が作成した学習、美術作品など

運動会のお手伝い さくら学園 (嘉麻市牛隈1712-7)

活動日時

平成23年10月16日(日) 9時～15時

活動内容

競技のお手伝い、園生の補助

募集人数

10名程度

募集締切

10月11日(火)

備考

昼食は施設で用意します。

秋祭りのお手伝い シルバーケア嘉穂 (嘉麻市鴨生480-1)

活動日時

平成23年11月5日(土) 10時～15時

活動内容

模擬店のお手伝い

募集人数

5名程度(高校生以上)

募集締切

10月28日(金)

備考

当日は動きやすい服装とエプロンの準備をお願いします。

※ 昼食は施設で用意します。

《お問い合わせ・お申し込み先》 かまボランティア・市民活動センター 電話 0948-42-0751

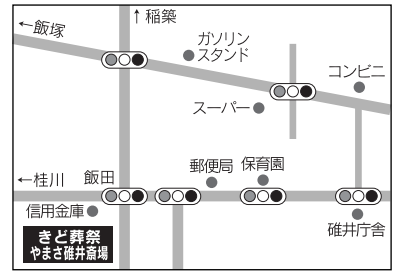
葬儀申込み時に、「嘉麻市社会福祉協議会の指定でお願いします」とお伝えください。葬儀にかかる費用の一部について割引を受けることができます。

嘉麻市社会福祉協議会指定葬祭場は、きど葬祭やまさ碓井斎場を含め、市内に8カ所あります。

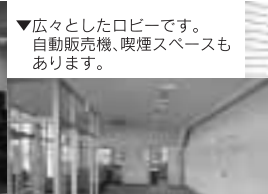
- ひさつね会館……………☎52-0758
- いすや会館……………☎57-4444
- セレモニーホールおおつか……………☎52-1212
- かほ葬祭 あじさい会館……………☎62-5566
- 善光会館 稲築会場……………☎83-5000
- おかむら葬祭 岡村会館……………☎42-4420
- 飛鳥会館 南斎場……………☎42-4241



- 大切な方をお送りするお手伝いを致します。
- フラワーアレンジ、枕花等も承ります。



▲最大200名程度収容可能なセレモニーホールです。ご希望により、オリジナルの祭壇施行も可能です。



▼広々としたロビーです。自動販売機、喫煙スペースもあります。



▲二間続きの控え室です。事務所との直通電話も設置され、快適に過ごせます。

「読めば答えが見つかるかも」
社協だよりクイズ?

「広報紙がお」を読んで、次のクイズにお答えください。正解者の中から抽選で2名の方に図書券(千円分)をプレゼントいたします。

問題

ちよつと間かせて一言インタビューで取材した方々は、米寿を迎えられました。米寿とは何歳でしょうか？

- (1) 九十九歳
- (2) 八十歳
- (3) 八十八歳

◆応募方法

- ①クイズの答え、②広報紙の感想、③住所、④電話番号、⑤氏名、⑥年齢をご記入の上、10月31日(必着)までに、ハガキ、またはEメールでご応募ください。

◆送付先

〒820-0205

嘉麻市岩崎1-143番地3 嘉麻市社会福祉協議会

tilki@kama.syakyo.com

◆前号のクイズの答え(1)

ひきこもり勉強会で講師の笛田千裕さんが演奏した楽器は、リコーダーでした。ご応募された方から社協だよりの感想をいただきましたので、いくつか紹介します。

- ・毎回、楽しみにしています。失いかけた温かさを呼び戻してくれそうです。
- ・東日本大震災以降、ボランティアや福祉の情報を改めて目がいくようになりました。
- ・地域活動や研修、ボランティアの情報がとても良いと思いました。

※当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

11月の総合相談

法律相談は予約が必要ですので、お早めにお申し込みください。

法律相談

と き: 11月17日(木)
13:00~16:00

と ころ: 稲築住民センター

心配ごと相談

と き: 11月9日(水) 13:00~15:00
と ころ: 稲築住民センター

と き: 11月30日(水) 13:00~15:00
と ころ: 稲築住民センター

嘉麻市社会福祉協議会 ☎0948-42-0751

みなさまの善意、
心より厚くお礼申し上げます。

寄附・香典返し

8月1日～8月31日受付分

●香典返し

【東岩崎】

親族 徳重 敦子 様

故 山下 和代 様

【口春】

親族 福澤 久代 様

故 福澤 章 様

【鴨生第二】

親族 平 ミツ子 様

故 平 弘行 様

【鴨生町】

親族 永川 義光 様

故 永川 知恵子 様

【銭代坊】

親族 石田 喜美子 様

故 石田 文一 様

【下白井東】

親族 松岡 嘉子 様

故 松岡 貴章 様

親族 田中 千草 様

故 田中 繁利 様

【百々谷】

親族 重松 真理子 様

故 重松 健次 様

【神幸】

親族 福澤 利一 様

故 福澤 信江 様

【天神】

親族 木村 文子 様

故 木村 明 様

親族 吉国 ヨシ子 様

故 吉国 菊夫 様

【木城】

親族 米元 ナツエ 様

故 米元 利春 様

【中山田下】

親族 吉村 サクミ 様

故 吉村 一義 様

【古河】

親族 川波 ハルヨ 様

故 川波 長兵衛 様

【中益】

親族 日永田 絹江 様

故 日永田 護 様

【貞月】

親族 森田 耕作 様

故 森田 耕ク 様

親族 浅田 勘壽 様

故 浅田 一雄 様

【下牛隈】

親族 大里 キヌエ 様

故 大里 輝親 様

親族 伊藤 フサ子 様

故 伊藤 頼泰 様

【小野谷】

親族 江藤 繁農夫 様

故 江藤 学 様

●初盆返し

【漆生本村】

親族 芳野 道子 様

故 芳野 嘉明 様

親族 野見山 務 様

故 野見山 實 様

親族 芳野 邦好 様

故 芳野 清子 様

【口春】

親族 曾我 信行 様

故 曾我 安子 様

親族 高木 サヨ子 様

故 高木 サツキ 様

親族 矢野 ワカ子 様

故 矢野 誠 様

親族 永富 久子 様

故 永富 芳實 様

【枝坂】

親族 鴨生北町 服部 陽子 様

故 鴨生北町 荒木 真美 様

【大橋】

親族 明石 フサエ 様

故 明石 正 様

【中益】

親族 石堂 享 様

故 石堂 達男 様

【下牛隈】

親族 杉本 秀雄 様

故 杉本 太助 様

【芥田】

親族 山本 ツキ子 様

故 山本 君雄 様

●一般寄附

嘉穂の名水愛好者一同 様

●物品寄附

【未使用切手】

下牛隈 杉本 秀雄 様

【子育てリユース】

漆生中央 横山貴代美 様

樋渡 東小野祐子 様

平第二 手柴加代子 様

新山野 大久保宏子 様

鴨生北町 荒木 真美 様

鴨生北町 服部 陽子 様

平山 松隈 明美 様

熊本

上白井上

笹原

原

由美

様

【アルミ缶】

漆生南部

西岩崎

飯田

飯田

飯田

下白井東

百々谷

尾浦第二

木城

中央

石ヶ崎

東馬見

飛鳥会館

南斎場

山野第二

鴨生北町

尾浦第二

尾浦第二

神幸

筑紫

筑紫

大橋

ゆうひが丘

中島

坂本

原

由美

様

西岡

松岡

名

名

名

名

名

橋本

下川

明石

渡邊美千代

名

名

名

名

武井スミコ

山崎

下川

明世

名

村上フクエ

原田

原田

原田

原田

原田

原田

瞳

曉子

由美

様

聖

光

名

名

名

名

名

睦則

名

名

名

名

名

名

名

名

名

名

名

名

名

名

名

名

名

名

名

名

中山田下 伊藤 文聡 様
石ヶ崎 渡邊美千代 様
大隈 大里 盛人 様
下牛隈 武本 恵子 様
西郷 斎藤 秀子 様
羽井電機 様
田中茶舗 様
かいだ美容室 様
嘉麻市役所保護課 様
鴨生第一地域福祉部 様

〔古切手〕

漆生本村 匿名 様
漆生南部 西岡 聖 様
鴨生町 匿名 様
新山野 大久保宏子 様
木城 田辺スミエ 様
石ヶ崎 渡邊美千代 様
鴨生第一地域福祉部 様
嘉麻市役所保護課 様
福岡銀行稲築支店 様
教育ナビゲーション(株) 様
N T T退職者の会 様
筑豊地域協議会 様
パソコン教室一同 様
〔使用済テレカ〕
漆生本村 匿名 様
中益 浦田 美香 様

あなたの会費が、社協の
地域活動を支えています

会員として、次の方々にご
加入いただきました。
(敬称を省略させていただきます)
8月1日～8月31日受付分

〔漆生本村〕深川慶子(十口)、
芳野良子
〔漆生南部〕宮崎美智子、宇野
洋子、室園宏子、西岡聖
〔樋渡〕山田剛久、花岡優子、
花岡理加、矢野文美子、花岡
安子
〔鴨生第二〕西川淳子
〔枝坂〕岡本拓彦、藤野靖子、
橋本玲子、橋本玉江、後藤ナ
ヲ子、森章枝、上田歌子、石橋
澄子、佐藤スミノ、永富久子、
摩治八重子、阿座上久子、中
嶋幸、大里久子、手柴フミ子、
能登原尚代、氷室喜美子、的
場定男(二口)、馬場敦志、山
田敏彦、出島浩二、谷口信典、
松尾幸雄、福田國広、前橋シ
ゲ子、赤星綾子、岩見忠昭、安
井勝彦、那須勝彦、豊岡スエノ、
笹栗雅之、雲井トメ子、

佐井美佐子、跡部アイ子、中
村時和、草場辰己、跡部治、尾
畑学
〔上臼井上〕坂本暁子
〔下臼井西〕坂本小夜美、藤浦
ハツエ
〔光代〕井上實
〔熊ヶ畑第二〕手嶋雪江、佐藤
義治
〔百々谷〕稲富静代、尾木八重
子、阿部久代、石井春美、太田
シズ子、川上アイ子、渋谷香、
高見敬次、長谷川はるみ、福
井政子、吉村英雄
〔尾浦第二〕前田澄子、下川明
世、三浦和子、大重昇、西豊子、
豊義満(三口)、坂井幸智子、
下鶴瀬一二三
〔西川〕山口由一郎、大里幸子、
真次悦子、吉永範男、松岡和子、
大塚久江、溝口義智、太田聖子、
井上美代子、安武睦恵、酒井
彦光、広瀬サツ子、松岡智子、
梶村アサ子、田中秀文、伊藤
サヨ子、山下俊実
〔木城〕大里景子、岸川太美峰、
小島宗浩、中川尋章、中野勝哉、

長与秀夫、林田正敏、日高文雄、
藤嶋泰仁、山本賀世子、和田
照代、宮本秀喜、岡本國夫、藤
井逸志
〔大橋〕深町弘、深町晴
〔さくらが丘〕近藤初美
〔中山田下〕伊藤文聡、箕田ヤ
ヨイ(二口)、大久保慶夕、大
久保ソノ子、岸本美代子、吉
永敏嗣(二口)、吉永静子、藤
田幸森、大森成順
〔天神〕赤木松夫、木下俊明、
城丸貴久枝、島田睦男、島田
久子、江藤富美子、城丸正治、
鳥居香代子、中野達男、野見
山喜代子、松岡一彦、松岡由美、
松岡梅香、米沢八重子、井上
智子、井上誠
〔石ヶ崎〕丸山みき、花元加奈
子、岩田順一、山田信之、江藤
友喜、仲道輝子、古賀道人
〔上山〕宮地弘子
〔下牛隈〕元春加代子、須崎サ
ツキ
〔牛隈北区〕伊藤シカエ
〔西馬見〕松木嘉代子

ふれあい千歳新聞

閉館時間が早くなります

平成23年11月1日から、山田ふれあいハウスの閉館時間が、
右記のとおり変更となりますので、お知らせいたします。

問い合わせ先 山田ふれあいハウス
電話 0948-52-1847

●閉館時間 19時→17時
●期間 平成23年11月1日(火)～
平成24年3月31日(土)

故郷や皮硬ければど甘き梨

私の自慢は「九カ年間出席皆勤」です。九カ年は足白小学校と大隈中学校です。小学校の入学は昭和二十一年の戦後第一期生で、民主教育の始まりでした。しかし、生活は貧しく、教科



みのお
大阪府箕面市在住
谷口光臣さん(71歳)
馬見出身

書・ノート・鉛筆などの教材もお粗末で、副読本もありませんでした。だから、勉強はせず(出来ず)に、家の手伝いと、川や山野での遊びと、そこでの食料調達の日々でした。きれいな水や空気、肥沃な土壌、豊かな緑、温暖な気候、優しい大人たちなど、穏やかな環境に恵まれたお陰で、体が丈夫になり、学校を休まずに済みました。

私のもう一つの自慢は、今でも小・中・高の校歌を覚えていて歌えることです。(今は大隈中学も山田高校もありませんが)それは、どの校歌も嘉麻の山紫水明、風光明媚、未来への希望を歌い上げていて、いつまでも心に残るからだと思います。

私も、大阪に来て約五十年になります。出張などのついでに、全国の名勝はほとんど廻りました。しかし「嘉麻川の下流から見ると馬見連山が、日本で一番美しい」と思います。帰郷するとき、車窓から、この連山が見えると、なぜか涙がにじんできます。

今では、身内の冠婚葬祭で帰省するくらいですが、その度に、懐かしい友達が集まってくれて、大いに筑豊弁でしゃべり、地酒を酌み交わし、嘉麻の人情滋味にどっぷりと浸らせていただいております。

清き流れの嘉麻川、白雲たなびく馬見連山、そこに住まわれる市民の皆様が、永遠に続くことを心から祈っています。

会員加入のお願い

嘉麻市社会福祉協議会では、市民のみなさんとともに福祉のまちづくりを推進していくため、会員を募集しています。年間を通じて受け付けていますので、ぜひ、ご加入ください。

今回は、みなさまから寄せられた会費で実施している「福祉機器貸出事業」を紹介します。

この事業は、要介護者の支援と介護者の負担を軽減するために、電動ベッド、車いす、介護用テーブル、ポータブルトイレを貸し出すものです。利用できるのは、嘉麻市にお住まいで、下記のいずれかに該当する方です。

- 介護保険の利用が非該当である方
 - 介護保険で、福祉機器レンタルが利用できない方
 - 機器の利用が必要な在宅障がい者の方
 - 施設や医療機関からの一時帰宅で、機器の利用が必要となった方
- また、利用料は次のとおりです。
- 電動ベッドは月1,200円(ただし、生活保護世帯は無料)
 - 車いす、介護用テーブル、ポータブルトイレは無料
- ※機器の数には限りがありますので、貸し出しを希望される方は事前に連絡をお願いします。

■会員の種別と金額 一般会員 1口 1,000円/年額 法人・団体会員 1口 1,000円/年額
お問い合わせ先 社会福祉法人 嘉麻市社会福祉協議会 電話 0948-42-0751



左の写真は、石炭の掘削作業に使われていたツルハシです。

坑内では、先が丸くなって作業効率が落ちないように、写真一番下の交換可能なタイプのものを使用していました。

武田好さんは、三井山野炭鉱の第一坑の開坑と同時期に操業した「武田鍛冶屋」(現在は、武田鋼建)の三代目です。

この鍛冶屋は、漆生東の炭鉱長屋のそばにあったため、夕方になると、作業を終えた鉱員の方たちが先の丸くな

ったツルハシを預けに立ち寄り、それを翌朝の出勤に間に合うように整えていたそうです。

武田さんは、「あの頃は、朝早くから夜遅くまで作業をせんと間に合わんくらい忙しかった。」と当時を振り返ります。

武田さんが手掛けたツルハシのうち、手元に残っているのは3本だけとなり、今も大切に保管しています。

炭鉱時代の懐かしい写真や思い出などを募集しています。嘉麻市社会福祉協議会までご連絡いただければ幸いです。(TEL 0948-42-0751)





嘉麻市支会だより

赤い羽根共同募金運動がスタート

「笑顔咲け！」羽根にたくしたこの思い

今年も赤い羽根共同募金運動が、10月1日から全国一斉にスタートいたしました。

この運動は、昭和22年（1947年）に民間の社会福祉事業を支援する「国民助け合い運動」として始まり、今回で65回を数えます。

今年度お寄せいただいた募金の約70%は、私たちのまちの福祉をよくするための財源として、翌年度に配分されるほか、社会福祉施設の整備費や災害復興支援のための財源としても役立てられることとなります。

本会は、目標額の7,668,000円をめざして、市内全域で街頭募金、戸別募金、職域募金、法人募金などに取り組みることとしておりますので、無理のない範囲でご協力をいただければ幸いです。

なお、各募金の具体的な取り組みについてはP2～P3に掲載しておりますのでご覧ください。

「笑顔咲け！」羽根にたくしたこの思い…赤い羽根共同募金

社会福祉法人 福岡県共同募金会
 春日作徳院 3-1-7 クローバープラザ6階 TEL 092-584-3388
 活動期間 10月1日～12月31日
 共同募金の詳しい情報は下記ウェブサイトをご覧ください。http://www.akafane.or.jp/

東日本大震災 被災地復興 たくさんの義援金に感謝

本会は、嘉麻市社会福祉協議会と連携して、地震発生直後から、被災地を応援するための義援金の募集に取り組んで参りました。

この間、市民の方々をはじめ、企業、各団体・事業所などから、多くの義援金をお寄せいただきました。8月31日現在で、181件、10,770,591円（内預金利息65円含む）にもなり、すべて中央共同募金会に送金いたしました。本当にありがとうございます。

設置協力店 募集中

キャラクター募金箱の設置を通じて、共同募金にご協力いただける協力店等を募集しています。

ご協力をいただける場合は、下記までご連絡いただければ幸いです。

現在は、P3に掲載した19店舗等から、ご協力をいただいています。

福岡県共同募金会嘉麻市支会
 電話0948-20-5225



募金運動を推進します

■街頭募金……10月1日から10月4日まで、市内のスーパーやコンビニなどの街頭に立って、高校生や中学生、社会福祉施設、ボランティアグループの方々とともに、ご協力を呼びかけます。

【稲築地区】セブンイレブン稲築郵便局前店（10月3日・4日）、スーパーASO稲築店（10月2日・3日）、food way稲築店（10月1日・2日・4日）、トレードマート稲築店（10月1日・2日）フレッシュ8稲築店（10月1日・4日）

【碓井地区】道の駅うすい（10月1日・2日・4日）、スーパー川食碓井店（10月2日・3日）、

【山田地区】セブンイレブン山田市上山田店（10月1日・4日）、スーパー川食山田店（10月2日・3日）、

【嘉穂地区】カッホー馬古屏（10月1日・2日・4日）、スーパーASO大隈店（10月1日・3日）、スーパーおおさと（10月1日）



■職域募金……市内の事業所、団体に募金資材（図書カード、クオカード、ボールペンなど）の購入を呼びかけます。（10月中旬から11月中旬）

なお、募金資材は、個人での購入もできますので、ご連絡をいただければ、お届けいたします。



図書カード 1,000円 / 1枚



クオカード 1,000円 / 1枚



ネクタイピン 1,000円 / 1本



バッジ(ピン) 500円 / 1個



バッジ(タイタック) 500円 / 1個



ボールペン 500円 / 1本



携帯クリーナー 500円 / 1個

■戸別募金……戸別募金はこの運動の最も中心となるものです。行政区や隣組をつうじて、ご協力を呼びかけます。（10月初旬から下旬にかけて）

■法人募金……市内・市外の法人企業等を訪問し、ご協力を呼びかけます。（11月初旬から中旬にかけて）
※法人としての募金協力（寄附金）は、全額損金算入できる税の特典があります。

今年度は7,668,000円を目標額に

■ キャラクター募金箱による募金……年間をつうじて募金箱を設置しています。



セブンイレブン稲築郵便局前店



セブンイレブン平店



セブンイレブン飯塚稲築店



サンコー銭代坊店



ポプラ稲築山野店



珈琲工房ふれん堂



トレードマート稲築店



foodway稲築店



ホームプラザナフコ稲築店



障害者支援施設三愛園



うすい人権啓発センターあかつき



道の駅うすい



碓井千歳会館



福岡嘉穂農協山田支所



山田慈恵会



(株)トモス



山田ふれあいハウス



スーパーASO大隈店



カッホー馬古屏



愛ちゃん と 希望くん

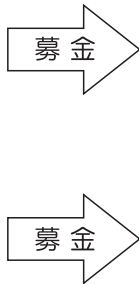


© 2014 大隈市支会

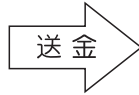
お寄せいただいた募金の流れ

募金協力をお願い

街頭募金
戸別募金
職域募金
法人募金
キャラクター募金



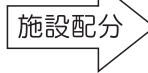
共同募金会
嘉麻市支会



※平成23年12月末
までに(随時)

福岡県共同募金会

※平成24年度に事業費として配分



社会福祉施設

※配分金で施設整備



社会福祉協議会

※配分金で事業の実施

昨年度の募金のうち、**4,755,500円**が嘉麻市社会福祉協議会に配分(平成23年度)され、私たちのまちの福祉を充実する、以下のような事業に役立てられています。

住民の福祉活動に 4,227,000円

- ・広報紙えがおの発行(年12回)
- ・総合相談事業の実施(通年)
- ・地域福祉部への活動助成及び研修会の開催
- ・福祉推進委員会の開催(年6回)
- ・ふれあいいきいきサロンへの活動助成



児童・青少年の福祉活動に 348,500円

- ・チャイルドシート貸出事業(通年)
- ・子育て用品リユースセンター事業(通年)



高齢者の福祉活動に 180,000円

- ・地域の交流拠点寄ってこハウス運営事業(通年)

